

たかといちどいだよ



令和8年 3月 第125号
たかといちどい保育園



春が来た♪

宮田 孝一

梅の花が咲き誇り、瞬く間に春の気配が感じられるようになりました。保育室に柔らかな日差しが差し込む日が増え、子どもたちの表情にも、春の訪れの喜びが感じられます。季節の移ろいととも心とからだの成長が重なり、日々の生活の中で見せてくれる姿に頼もしさを感じられる今日この頃です。

1年を振り返ると、子どもたち一人ひとりが経験を重ね、できることが増え、友だちとの関わりも深まっていったことを改めて実感します。

保護者の皆さまには、日々の送り迎えや園での取り組みへのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。皆さまの温かな支えがあってこそ、子どもたちは安心して園生活を送り、のびのびと成長することができました。

まもなく進級や新しい環境を迎える季節となります。子どもたちがこれまで培ってきた力を次のステップにつなげられるよう、職員一同、引き続き丁寧に寄り添ってまいります。春の訪れとともに、子どもたちの未来が明るく広がっていくことを願いながら、締めくくりを大切に残りのひと月を過ごしていきます。

いつも颯爽としている。

いつも颯爽とした晴れやかな気分である。

知の巨人と言われる渡部昇一上智大学名誉教授が、自らに言い聞かせてこられた言葉だそうです。「元気と愉快というのは、人生においてきわめて重要である。仕事はとにかく常に元気に愉快にやる。その気分が重要だということをわれわれは意識すべきと思う。ジュエリアス・シーザーの特色はいつも上機嫌だったことだそうだ。」あわただしい3月にこそ、渡部先生の言葉に学びたいと思います。



3月の予定

ひなまつり会	3日(火)	神戸元町ちどり交流(5歳児)	4日(水)
お別れ遠足(3.4.5歳児)	5日(木)	誕生会	11日(水)
発育測定	12日(木)~16日(月)	卒園式	19日(木)
お別れ会	23日(月)		
移行保育	24日(火)~		
体育あそび	9日(月)・24日(火)		

※避難訓練・救急訓練は日時不明の設定で行います。





あわらび



保育士や友だちとの関わりの中で、少しずつ言葉の意味を理解して、表情や行動で応えたり、簡単な言葉で思いを伝えたりするようになってきました。友だちと同じ玩具で遊んで笑い合う姿や、友だちが泣いていると優しく頭を撫で、「だいじょうぶ？」と顔を覗き込むなど、友だちを思いやる関わりも見られ、成長を感じています。今後も子ども同士の間を温かく見守り、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるよう援助していきます。

今月は、ひかり組で過ごす時間を増やし、新しい玩具に触れ、ゆったりとした雰囲気の中で、楽しく過ごせるようにしていきます。自分の気持ちを表現し、伝えようとする姿を丁寧に受け止め、友だちとの関わりが広がっていくように見守っていきたいと思います。



ひかり



給食の時間は、一人ひとりに合わせて丁寧に介助したり、自分で食べようとする姿を十分に認めたりしながら関わっています。スプーンやフォークをしっかりと持てるようになり、最後までほとんどこぼすことなく自分で食べるようになってきました。苦手な食材にも、様子を見ながら丁寧に誘いかけ、食べられた際は、「ぴかぴかになったよ！」「やさいたべた〜」と喜んで保育士に伝える姿も見られます。今後も食事の様子を見守りながら、様々な食材に誘いかけ、保育士や友だちと一緒に食事をする楽しさを感じられるようにしていきます。

ひかりぐみで過ごす時間も残り1か月となりました。今月は、にじ保育室で様々な玩具に触れて遊ぶ時間を増やすことで、少しずつ新しい環境に慣れていけるようにします。また、一緒に遊ぶ中で好きな遊びを見つけられるようにし、進級することへの喜びや期待をもって楽しく過ごせるようにしていきます。

あーん



おいし〜



にじ



先月はままごとなど遊びの中に箸を取り入れ、慣れていけるようにしました。まずは箸を使うときに注意すること、使い方などを知らせ、一人ひとりに合わせて持ち方を伝えたり手を添えて一緒に使ったりしました。はじめは難しそうにしている様子がありましたが、スポンジやままごとの玩具を掴めた際は「できた！」「みて！」と喜んで楽しんでいました。今後も安全に遊べる環境を整えて、箸に慣れていけるようにします。

にじ組で過ごすのも、残り一か月となりました。来月は、3階の幼児の部屋へたくさん行き、部屋での過ごし方やトイレの使い方を丁寧に伝えたり、一緒に遊ぶ時間や給食を食べる時間を設けたりしていきます。



こうやって
もつよ





きりんグループ



真冬とはいえ比較的日中は暖かく、屋上園庭に出て、走り回って遊びました。ジャングラミングの周りを走ったり、平均台や鉄棒を合わせて、簡単なサーキット遊びをしたりしました。春には苦手で参加しなかったり挑戦しなかったりしたことも、少しでもやってみようという気持ちになれるように手を添え、一緒にやってみることで、不安な気持ちが軽くなり、様々な遊具に挑戦する姿が見られ、成長を感じています。これからも一つ上のことにトライする気持ちを援助し、自信に繋げていけるようにしていきます。

きりんグループで過ごすのも残り1か月となりました。みんな1年を振り返り、写真を見たり、行事などを振り返ったりしていこうと思います。また、みんなで好きなカードゲームやルールのある運動遊びなど楽しんでいきます。生活面では卒園、進級を前に歯磨き、着替え、トイレの使い方など確認していきます。



うさぎグループ



座ってしっぽ取りやフルーツバスケットなどのルールのある遊びを楽しみました。チームごとに話し合う時間を作ると、ゆめぐみ中心に意見を出したり、積極的に友だちにルールを教えたりしながら遊んでいました。「自分が勝ち残ったらそれでいい」と思っていた子どもも、チームが勝つにはどうしたらいいか考えながら遊ぶようになってきました。今後もルールを守りながら勝ち負けを楽しめるように、様々な遊びを取り入れていきたいと思います。

うさぎグループで過ごすのも残り1か月となりました。この1年の楽しかった思い出を振り返りながら、子どもたちの好きな遊びを取り入れて過ごしたいと思います。また、進級・進学に向けて話をする事で、新年度を楽しみに迎えられるようにしていきます。



ぞうグループ



先月は歯ブラシの持ち方について改めて話をし、丁寧に磨けるように援助しました。「こんなにちは持ち」と「さようなら持ち」を意識しながら歯の奥や見えないところまで磨けるように声をかけたり、磨き残しがないようにその都度確認をしたりしました。そうすることで、磨き残しが少ない子どもが増えてきました。今後も、虫歯にならないためにも、丁寧に磨く習慣が身に付くように、しっかりと持ち方、磨き方で歯を磨けるよう援助していきます。

ぞうグループも残り約1か月です。いままでの思い出を振り返って絵を描いたり、みんなで一緒にふれあい遊びをして思い出を作ったりしていきます。また、新年度への期待感ももてるように、進級・進学に向けて話などもたくさんしていこうと思います。



きれいに
なったかな

おくまでみがくよ



あさひくみ



《 野菜を触ってみたよ 》



今月はカレーの絵本を読んだ後に、にんじん・じゃがいも・玉ねぎに触れて遊びました。絵本に出てくる野菜を指さしたり、「にんじん!」「じゃがいも!」と嬉しそうに声にしたりする子どもたち。絵本で見た野菜が実際に目の前に並ぶと、興味津々で手を伸ばす姿が見られました。両手で持って重さを感じたり、指先でつんつんと触れたりしながら、それぞれが感触を確かめていました。

玉ねぎでは、皮に気づき、自分でそっとむき、めくると嬉しそうな表情を浮かべていました。給食でカレーが出た日は保育士が「にんじん、じゃがいもはいつてるね」と声を掛けると、野菜を見たり指差したりする子どもたち。にこにこしながらぱくつと食べる姿が見られ、嬉しく思いました。



一年を通して、果物や野菜に触れたり、野菜スタンプを楽しんだりしながら、様々な食材に親しんできました。見る・触れる・感じる経験を重ねる中で、食べ物への興味が少しずつ広がっています。これからも「見てみたい」「やってみよう」という気持ちを大切にしながら、食への関心を育てていきたいと思います。

《 木のおもちゃ美術館 》

1月に3泊4日の博多旅行に行ってきました。なぜ博多を選んだのか、息子が「また、きのおもちゃであそびたい」と言ったことが始まりでした。去年の1月に行った『徳島の木のおもちゃ博物館』のことを思い出したようです。おもちゃ美術館を検索してみると、全国に14か所もありました。今回は、交通が便利な博多に決定しました。

1日目はホテルでゆっくり過ごし、2日目に念願の『福岡おもちゃ美術館』へ行きました。息子は車好きで、早速見つけて木の道路に乗せて走らせたり、大きい汽車に乗って運転したりして遊んでいました。その後は、木に隠れている青虫探しをしました。虫取り専用の磁石が付いた棒を使って、幹の穴に隠れている青虫をいっぱい捕まえて楽しみました。また、コマで遊ぶお兄ちゃんに興味をもち、一緒にコマを回して楽しい時間を過ごしました。3日目は山口県の実験館にも行き、久しぶりの家族旅行を満喫することができました。

全国におもちゃ美術館があるので、次は何県に行くか夫婦で話し合っています。ぜひ、皆さんも機会がありましたら行ってみてください。どこか近場でも遠出でも「ここよかったよ」という子どもも楽しめるおすすめの場所あれば教えてください♪

大國 紗羅

